たかとり修一PRESS

発行:たかとり修一事務所

今号は

「農業」

特集



ニュース速報



たかとり修一 衆議院厚生労働委員長に内定

当選2回で厚生労働大臣政務官と自民党厚生労働部会長、 当選3回で内閣府副大臣に続いて、この度「衆議院厚生労 働委員長」に内定しました。皆様のご支援の賜物と心から感 謝申し上げ、医療・福祉や子育て労働問題などの諸課題に 真摯に取り組みます。



今、日本の農政は「農政新時代」ともいうべき新 たなステージを迎えています。夢と希望の持てる 農政新時代を創造するために、自民党では未来の 農林水産業・食糧政策のイメージを明確にすると ともに、生産者の努力では対応できない環境面を 整えていきます。

「農業・農村の所得の増大に向けた10ヵ年戦 略」のもと、政策総動員と現場の力で強い農山村 づくりを目指し、法人経営、大規模家族経営、集落 営農、企業などの多様な担い手に対する融資、税 制、出資などの支援を強化。こうした支援などを通 じて経営のレベルアップにつながる法人化を推進 していきます。また、これからの時代を見据え、農 業の担い手の育成にも力を入れていきます。 2023年に40代以下の農業従事者を40万人まで 拡大させ、世代間バランスを取り、家族経営、法人 経営、集落営農企業などの多様な担い手が共存 する構造を作りあげていきます。

新潟県内の農業の今

県内の農業産出額の1位は米であり、新たなブ ランド米「新之助」も誕生しました。今後も"米どこ ろ"として農業を守っていくためには、水田フル活 用政策への理解を促し多収穫米作付けへの誘導 を図るとともに、需要拡大や輸出促進などによる 米の販路拡大策の推進が必要となっていきます。 農業の多面的機能を発揮させ、日本の食糧基地と

指した政策の展開を 図っていかなければ なりません。農家の 皆さんのご意見や 要望を取りまと め、国や県に提言 していきます。





田植えをしたこともない国会議員が農政の何を語れるのか。 もっと農家のみなさんの気持ちを理解したい。

もっと農業の大切さを伝えたい。

そんな思いから、自民党米作りプロジェクトが始まりました。

自民党、米作りに真剣です。





田植えシーズンである5月13日。小雨が降る中、柿崎で田植えの手伝いをさせて いただきました。重労働ではありましたが、新緑の中で澄んだ空気を吸って久々 にリフレッシュでき、また農業への理解を深め、農家さんたちの率直な思いや意 見を直接対話の中で得ることができた良い機会となりました。



国営土地改良事業関川用水地区推進協 議会の皆さんと農水省を訪問し、農業 農村整備事業の推進に関して、「矢倉 農水大臣政務官」に陳情しました。



JA新潟県青連役員の皆さんと談話。 TPPを始めとした農業を取り巻く様々な 動きについて、党としてしっかり対応し なければなりません。



次号のたかとり修一 Press は… 「医療福祉」特集です。

自民党第6選挙区支部 衆議院議員 たかとり修一事務所

上越事務所

〒943-0817 新潟県上越市藤巻10番1号コスゲビル2F TEL 025-521-0760 FAX 025-521-0761

東京事務所

〒100-8981 東京都千代田区永田町2-2-1-1214 TEL 03-3581-5111(代表) 51214(内線) FAX 03-3508-3987

十日町事務所

〒948-0067 新潟県十日町市千歳町1丁目2番5号 TEL·FAX 025-752-7843



Facebookやブログやってます!

へ たかとりしゅういち

検索